

(別添)

事業評価報告書

1. 調査結果を活用した再生可能エネルギー電気を供給する取組の概要

取組主体	取組概要
農事組合法人森のめぐみ	茨城県内原木椎茸栽培農家の組合組織。福島第一原子力発電所事故により出荷停止状態となっている原木椎茸栽培事業を、太陽光発電事業と組み合わせ、施設栽培に移行することで、放射能汚染を受けない原木椎茸栽培事業再生の取り組みを開始。
特定非営利活動法人 つくばアグリチャレンジ	農業を通じて障害者の自立を支援するNPO.障害者の働く場を増やすことを目的に、農業の作業環境改善や農作物の育成環境改善などの効果を期待できる、ソーラーシェアリング導入の検討を開始。
霞ヶ浦用水土地改良区	農業用水の排水機場などの施設に太陽光発電施設を設置するための調査を実施。
はさき漁業協同組合	風力発電施設の新設を検討中。

2. 評価

農山漁村の資源を活用した再生可能エネルギーの導入に関して、茨城県内での事業化に向けたいくつかの具体的な取り組みが開始された。用地確保、法的規制、施設設計要件、事業資金調達、運営体制等に関わる、事業化に向けての検討課題はあるものの、事業体の積極的な取り組み姿勢により、これらの課題を解決しながら、事業化は着実に進んでいると見られる。

(注) 1. の取組に関して参考となる資料がある場合には、その資料を添付すること。